

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

BELS推進化住宅

グループの名称

フォレストワークいえづくりの会

直近採択グループ番号

04-0105-0248

(グループ代表者)

代表者名

小池 明夫

代表者印

代表者所属先

株式会社アイコーホーム

代表者所在地

東京都杉並区高井戸東3-6-3

代表者電話番号

03-3334-0334

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社アイコーホーム

事務局担当者名

千葉 悠介

印

事務局郵便番号

168-0072

事務局所在地

東京都杉並区高井戸東3-6-3

事務局電話番号

03-3334-0334

事務局FAX

03-3334-0338

事務局担当者E-mail

aiko@zero-ene.com

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		10	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		20	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		5	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		10	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		2	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0	棟	/					
			0	m ²						
		申請が未確定	0	棟						
			0	m ²						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	採択分の1棟分を最低棟数で各工務店に分配、残りを先着順で分配。日毎の先着順とし、 長期優良住宅の実績の少ない工務店を優先とする。(設計契約に至った場合、先着申込出来る。)									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	10	戸	交付申請戸数	10	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	10	戸
	補正予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) BELS推進化住宅	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) フォレストワークいえづくりの会	(結成年) 2008年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0105-0248	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	ZEHの外皮性能基準程度を満たす。(外皮性能 3地域 0.4以下、4~7地域 0.5以下程度) やむを得ない場合、低炭素認定基準相当、一次消費エネルギー等級5等級相当、BELS相当とする。 ※仕様規定は、原則認めません。 ②耐震等級3等級相当(やむを得ない場合住まい手の了解のもと耐震等級2等級相当)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○在来木造軸組工法を基本とし、各地域に合わせた様式を取り入れる。 ○CASBEE戸建(2014)QH3 1.まちなみ・景観への配慮 レベル4以上を努力する。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○CASBEE戸建(2014)QH3 1.まちなみ・景観への配慮 レベル4以上を努力する。	○
④①~③の背景	①家電、自動車などの産業分野は省エネ化が進む一方で、住宅はここ10年進歩がなく住まい方の変化もあり冷暖房消費エネルギーは増加傾向にある為、他の産業同様に住まいの省エネ化に取り組んでいく。 地震の多い日本で、耐震設計の重要性と技術の波及を推進していく。 ②③当グループは、全国的に展開しつつあり、風土、気候を限定することが困難であるため、CASBEE戸建により、調和のとれた建て方、デザイン等を推奨していく。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	デザインコンテストや研修会を行い、デザイン手法などを向上させていく。 ZEHビルダー登録を推奨し、省エネルギー性能の高い住宅建築を目標をもって推進していく。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	基本流通材寸法とし特殊寸法材を使わない。	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 運用マニュアルで標準仕様のルール化を行っている。 基礎を除く構造部分、住設機器、内装、外装標準仕様をグループ内で共有している。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構造材・住設機器・外装材などの共同仕入れを行っている。	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 設計・施工構成員 6ヶ月に1回程度	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 合理化の情報を収集し、構成員に配布、伝達する。 6ヶ月に一回程度。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JASS並びに木造標準仕様に準じた施工基準とし、設計構成員により監理している。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運用マニュアルで検査のルール化を行っている。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員にて同一の見積方法を使用している。 運用マニュアルで積算方法もルール化している。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造見学会を開催し、信頼性ある施工のアピールの場としている。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) BELS推進化住宅	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) フォレストワークいえづくりの会	(結成年) 2008 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0105-0248	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運用マニュアルでルール化を行っている。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運用マニュアルでルール化を行っている。	◎
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-3	点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運用マニュアルでルール化を行っている。住まい手に引渡し時に管理方法、お手入れ方法を実演、実施している。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 漆喰塗り体験会の実施	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完成保証制度を導入できるようにしている。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工店毎になるが、瑕疵担保法人に協力してもらい、瑕疵の勉強会を開催している。年1回程度	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 経験者構成員の実現場にて研修、随時。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運用マニュアルでルール化を行っている。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: アンケート調査及び、実施書類の提出。2か月に1回程度	○
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年断熱法令化に合わせ、違反建築物とならぬように気密、気流止め工事施工性、確実性の強化	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各業種、又は合同で勉強会を各施工店で実施。2か月に1回程度	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 20 今年度の参加目標人数 5	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 5	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 1構成員当たり2名以上の取得者を基準とし、知識の向上を推進する。	○
c		
①	新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: UA値0.25W/m ² Kの住宅開発。遮熱住宅の技術開発。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) BELS推進化住宅	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) フォレストワークいえづくりの会	(結成年) 2008年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0105-0248	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須) ② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) ③ 標準的な地域材の使用部位(必須) ④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	管柱に100%地域材を使用する。 真壁和室などの意匠性や構造上でやむを得ない場合は、合法木材とする。 ■ 50%未満 □ 50%以上 □ 80%以上 土台: ■ 使用していない □ 使用している 主要構造材 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: ■ 使用していない □ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 ①-2 地域材価格の共有の仕組 ② グループ全体における地域材の需給予測	■ ない □ ある → 内容: □ ない ■ ある → 内容: 運搬費を除き、統一単価で行ってもらっている。 □ 行っていない □ 行っている → 内容:
c	①-1 畳の活用 ①-2 和瓦の活用 ①-3 襖の活用 ①-4 障子の活用 ②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 ②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 600枚 ■ 行っていない □ 行っている → 内容: □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 300枚 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 400枚 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 漆喰塗り、土壁など伝統的な塗り壁を推奨している。 ■ 行っていない □ 行っている → 内容:
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 ② 地域の住まい方の継承につながる取組 ③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 ④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない □ 行っている → 内容: ■ 行っていない □ 行っている → 内容: □ 行っていない ■ 行っている → 内容: CASBEE戸建(2014)QH3 1.まちなみ・景観への配慮 レベル4以上を努力する □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 縁側、排気塔など、パッシブな設計に寄与できるものを研究、推奨している。
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	一部福島県材を取り入れ復興支援ならびに、風評被害を抑制できるようグループとして取り組んでいる。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	熊本い草を使った畳の使用を推奨している。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) BELS推進化住宅	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) フォレストワークいえづくりの会	(結成年) 2008年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0105-0248	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

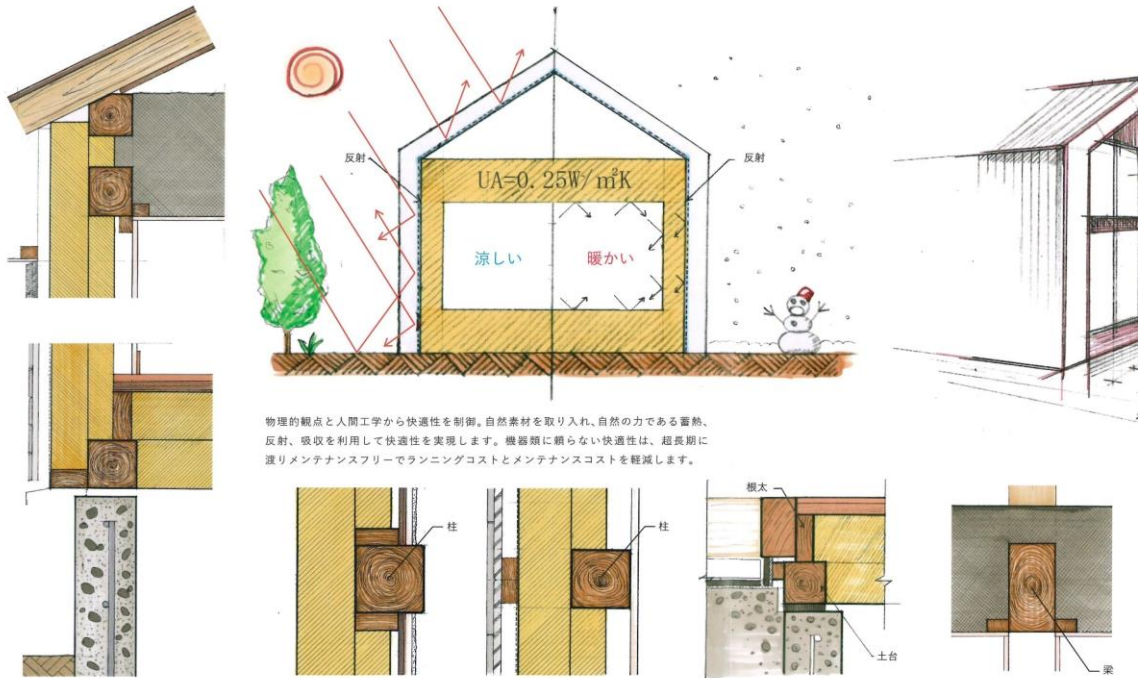
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

3地域 モデル3タイプは、外張り断熱等の工法を駆使して、モデルプランでUA値0.25W/m²Kを実現している。
高断熱化の弱点である夏季の対策として、アルミニウムを使用した防湿シートを使用することで、夏季の熱ごもり対策を行っている。
これらの技術・コストノウハウを4地域以南の構成員にも共有し地域性から見た最適なUA値を検証してもらっている。

超断熱住宅 + 遮熱住宅

低炭素認定を超える未来型断熱



物理的観点と人間工学から快適性を制御。自然素材を取り入れ、自然の力である蓄熱、反射、吸収を利用して快適性を実現します。機器類に頼らない快適性は、超長期に渡りメンテナンスフリーでランニングコストとメンテナンスコストを軽減します。